



代表質問 高島咲かそう
今城 克啓 議員

第2次高島市総合計画

進捗管理や客観的評価は？

毎年進捗状況をチェックし、市民から評価される仕組みをつくりまします。

答

問 進捗管理や客観的な評価をどのように進めていくのか。

答 市長 庁内的には、毎年進捗状況をチェックして評価する仕組みをつくりまします。また、市民アンケート調査やまちづくり推進会議等で市民満足度やご意見を把握し、施策の検証や見直しに活かします。

問 計画を推進するにあたって、様々な経済活動や市民活動をつなぐなどのコーディネート機能を強化する必要はあると考えるが、市の所見は。

答 市長 経済活動と市民活動が連携していくことは、計画の実現に向けて重要な課題と認識しています。この組み合わせにより相乗効果を生み出すため、連携の方策やこのようなスキルを高める方法についてもしっかりと取り組んでいきたいと考えています。

問 水源地としての条件と素材において、高島市ほど恵まれた地域は日本中探してもなかなか存在しない。それらをさらに前面に出して、総合計画の様々な施策に活用するべきと考えるが、市の所見は。

答 市長 琵琶湖の主要な水源地であることを意識した施策を展開し、高島市に残る水との共生という生活文化を守りながら、その魅力を内外に発信していきたいと考えています。



琵琶湖に美しい水を供給している高島の森林・農地・川・集落

問 「琵琶湖周航の歌」生誕100周年を迎えるにあたって、文化的にも観光的にも重要な資産となり得る「琵琶湖周航の歌」を今後さらに教育や観光に活用していく必要があると考えるが、市の所見は。

答 市長 滋賀県や関係団体との緊密な連携のもとに、100周年記念事業を始め、琵琶湖と歌の魅力を情報発信し、誘客の促進にもつなげていくことを確認しています。

本市も「琵琶湖周航の歌」を伝承し、相乗効果を利用した観光振興にもつなげてまいりたいと考えています。

その他の質問

●森林を伐採して設置するメガソーラーの規制について